

## 地域福祉の推進力

# ボランティア



問い合わせ

社会健康課 ☎21152

住み慣れた地域で心豊かに安心して生活していくためには、地域福祉の推進が重要です。地域福祉とは、住民や社会福祉関係者が、「人と人とのつながり」を大切にし、お互いに協力して地域社会の課題の解決に取り組む考え方です。

地域福祉の推進の担い手として、ボランティアの果たす役割は大きく、活躍が期待されています。市内には、多くのボランティアグループがあり、熱心に活動をしています。今回は、視覚障害者を支援するボランティアグループを紹介します。

ガイドヘルプという言葉をご存じですか。ガイドヘルプとは、一人では外出することが困難な視覚障害者に付き添って歩行の介助や誘導をする活動のことをいいます。

### ガイドヘルプボランティアグループ

昭和61年に立ち上げて以来28年間活動を続けているガイドヘルプボランティアグループ。代表の downward 井ハツ子さんに話を伺いました。

### どんな活動をされていますか

視覚障害者の外出支援、料理教室、福祉まつり用展示物の制作、障害者スポーツ大会などの行事で、視覚障害者の補助・お手伝いをしています。また、依頼があったときは、学校や職場でガイドへ



ルプについての講義を実施しています。

### 活動を通じて良かったと思うこと

活動を通じて、多くの方と交流することができました。たくさんのお出合いから、多くのことを学び、また大切な思い出が作れるところが魅力であり良かったと思うことです。

### 活動への思い

視覚障害者の方が少しでも多く外に出て、楽しく会話し交流できればと思いい活動を続けていきます。



### これからの地域福祉

地域福祉推進の活動拠点である大竹市社会福祉協議会の角井地域福祉係長にボランティアの重要性についてコメントをいただきました。

私たちは、多くのボランティアの皆さんのご協力をいただいて、地域福祉に取り組んでいます。

近年の地域福祉活動は、介護予防や生きがいづくりなどの効果もみられます。この活動を支えていただいているのはボランティアの皆さんであり、これからもますます期待される活動者です。

引き続き、地域福祉の基本となる「人と人とのつながりづくり」を、これからもボランティアの皆さんと二人三脚で取り組んでいきたいと思えます。



地域福祉について熱く語る  
角井地域福祉係長

## ボランティア功労者に対する 厚生労働大臣表彰

### ガイドヘルプボランティアグループ

長年にわたり、福祉分野などのボランティア活動に貢献された功績